写真の壁
Photography Wall

原田裕規

2019年2月2日（土）－3月24日（日）

原爆の図 丸木美術館

埼玉県東松山市下唐子1401　TEL 0493-22-3266

助成：公益財団法人アイスタイル芸術スポーツ振興財団

原田裕規 写真の壁 Photography Wall

「写真の山（仮）」2018年7月、推定およそ10000枚の写真（当時）、サイズ可変

原田裕規は、ラッセンや心霊写真など、社会的には「とるにたらない」とされているにもかかわらず、人々が嫉妬や恐怖などといった強い感情を向けてしまう事象にスポットを当て、近代社会の無意識を炙り出すかのようなプロジェクトで知られている美術家です。

原爆の図丸木美術館で開催される「写真の壁：Photography Wall」は、原田が2017年から回収を続けている膨大なイメージ（写真）が、これまでとは全く異なる手法で展覧される初めての機会となります。

広島で被爆した祖父を持つ原田は、広島への原爆投下という惨事にある一定の当事者性を覚えながらも、決して当事者を自認することはできない「越えられない壁」に直面していました。

かつて広島で起きた出来事について、遺された写真や伝聞として二次的な体験をいくら積み重ねたところで、そこには容易に想像力をしのばせることのできないイマジナリーな壁があったのです。

しかしあるときから、こうした壁は原田のみが直面しているものではなく、かつて起きた惨事に対峙するすべての人々、ひいては被爆しながらも（爆心地から物理的／時間的に距離が離れていたがために）生き延びた被爆者の中にも共通して存在するものではないかと考えるようになりました。

なぜなら、惨事の核心で「爆心地」を目撃した眼は、原爆が炸裂した瞬間にすべて消滅してしまっているからです。そうであるがゆえに、原爆投下の数日後に広島へ足を踏み入れながらも、見事に《原爆の図》を描き上げた丸木位里・俊の仕事には意味があると言えるのではないでしょうか？

本展では、このイマジナリーな壁が「写真の壁」に見立てられ、丸木美術館に出現します。

その壁は、私たちがまとまったイメージ（写真）に対していかなる関係性を構築しうるかについて、静かに問い掛けてくるでしょう。

さらに、近年制作・発表された（心霊）写真をテーマにした新旧作品と「写真の山」も併せて展示される予定です。

みなさまぜひ、原田の新しい展開をご高覧ください。

原田 裕規　はらだ・ゆうき

美術家。社会の中で取るに足らないとされている「にもかかわらず」広く認知されているモチーフを取り上げ、議論喚起型の問題を提起する作品で知られる。作品の形態は絵画、写真、展示（インスタレーション／キュレーション）、テキストなど。代表的なプロジェクトに「ラッセン」や「心霊写真」を扱ったものがある。主な個展に「心霊写真／ニュージャージー」（Kanzan Gallery、2018年）、編著書に『ラッセンとは何だったのか？』（フィルムアート社、2013年）、企画に「ラッセン展」（CASHI、2012年）など。

1989年　山口県生まれ
2013年　武蔵野美術大学造形学部芸術文化学科卒業
2016年　東京藝術大学大学院美術研究科修士課程先端芸術表現専攻修了
2017年　文化庁新進芸術家海外研修制度研修員としてニュージャージー（アメリカ）に滞在
http://www.haradayuki.com

関連イベント

オープニングトーク
日時：2月2日（土）午後2時開始　参加自由（入場料別途）
出演：原田裕規（美術家）　聞き手：岡村幸宣（丸木美術館学芸員）

椹木野衣 × 原田裕規 トークイベント
日時：3月17日（日）午後2時開始　参加自由（入場料別途）
出演：椹木野衣（美術評論家）、原田裕規（美術家）

このチラシをお持ちの方は、丸木美術館入館料が100円割引となります

公益財団法人 原爆の図 丸木美術館

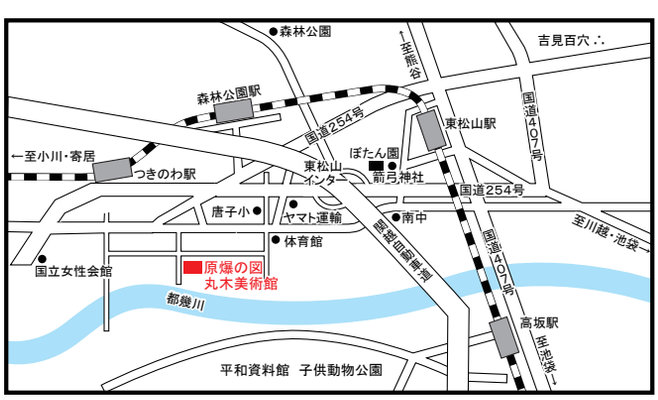
〒355-0076 埼玉県東松山市下唐子1401
TEL 0493-22-3266　FAX 0493-24-8371

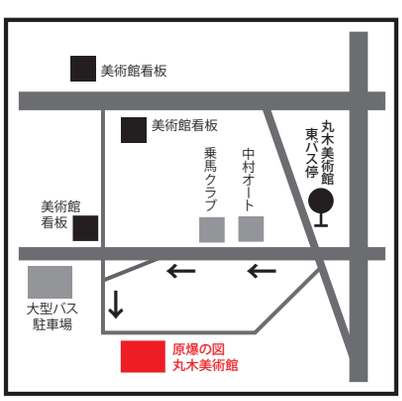
5月5日は開館記念日・8月6日はひろしま忌

［常 設 展］「原爆の図」連作
「水俣の図」
「南京大虐殺の図」
「アウシュビッツの図」
「水俣・原発・三里塚」
丸木スマ水彩画等

［開館時間］午前9時半～午後4時半
（3月1日以後は午前9時～午後5時）
［休 館 日］月曜日（月曜祝日の場合は翌平日）
［入 館 料］大人900円　中高生または18歳未満600円
小学生400円　団体（20名以上）、60歳以上、
チラシ持参者、比企地区在住者100円割引
障碍（しょうがい）のある方は半額

［U R L］http://www.aya.or.jp/~marukimsn/
［Eメール］marukimsn@aya.or.jp
［交　　通］●東武東上線森林公園駅
南口よりタクシー10分、徒歩50分
●東武東上線東松山駅より市内循環バス唐子コース（日祝運休）約15分
「丸木美術館東」下車徒歩15分
●関越自動車道
東松山インターより小川方面10分
●東武東上線つきのわ駅南口から徒歩27分、詳細は丸木美術館にお問い合わせ下さい





【市内循環バス時刻表（日祝運休）】

東松山駅東口発 丸木美術館東行	丸木美術館東発 東松山駅東口行
08:55	10:32
10:00	11:37
11:05	14:02
13:30	15:02
14:30	16:27
15:55	17:32